

# 中小企業あきた

- 1 第65回中小企業全国大会、盛大に開催される！ ..... 1
- 2 国へ高速道路の早期整備を要望 ..... 3
- 3 平成25年度中小企業労働事情実態調査結果(要約版) ..... 4

- 中小企業組合等支援施策情報 ..... 3
- 景況レポート9月分 ..... 6
- 話題の広場
- 中央会事業より ..... 7
- アラカルト ..... 7
- 支援団体活動レポート ..... 8
- 新設組合紹介 ..... 9
- 組合テイルーム ..... 9
- インフォメーション ..... 10

11  
NOVEMBER.2013



## TOPICS 1 第65回中小企業全国大会、盛大に開催される！



【全国大会の様子】



【全国中央会鶴田会長】

### ～第65回中小企業団体全国大会スローガン～

1. 実感ある景気回復と経済成長の実現
2. 組合等連携組織対策の充実強化
3. 東日本大震災の産業基盤の再生加速
4. 中小企業の投資・雇用を拡大する税制・金融支援の拡充
5. 中小企業の実態に十分配慮した社会保障制度の見直し
6. 快適なまちづくり等商業・サービス業振興対策の強化

10月24日(木)、滋賀県大津市の「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール」において、第65回中小企業団体全国大会(主催：全国中小企業団体中央会、滋賀県中小企業団体中央会)が開催されました。

本大会は、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、自らの決意を明らかにするとともに、国等に対して中小企業振興施策の強化を訴え、組合等連携組織を通じた中小企業の成長・発展と豊かな社会実現を図ることを目的に毎年開催しているものです。

65回目の今大会は、『つながる絆、ひろがる未来～組合 絆 ルネサンス～』をキャッチフレーズに、政府、中央関係機関、各政党代表などの来賓と本県から参加した35名を含む、全国から約2,200名が参加しました。

表彰式では、本県から菊地成一氏(秋田県木材産業協同組合連合会理事長、本会副会長)及び藤澤正義氏(秋田県鐵構工業協同組合理事長、本会副会長)が組合功労者として、秋田市個人タクシー協同組合(渡邊政夫理事長)が優良組合として、全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞しました。

大会に先立ち、全国中央会鶴田欣也会長は、「全国の中小企業が『絆』の下に改めて連携の意義を確認し、地域の中小企業が日本経済の成長の主役となれるよう、全力を挙げて取り組まれることを切望する。」と挨拶し、引き続き開催地である越直美大津市長や嘉田由紀子滋賀県知事から来賓挨拶が行われました。

議事に入り、全国中央会蝦名副会長（青森県中央会会長）より決議案に関する意見発表が行われ、「①実感ある景気回復と経済成長の実現、②中小企業連携組織対策推進事業の強化と小規模企業振興基本法の制定、③被災地の産業基盤の再生加速、④快適な商店街づくり、⑤社会保障制度改革」の計5項目について議案が採択されました。

なお、来年の第66回中小企業団体全国大会は、東京都において開催されることとなっております。

## 第65回全国大会受賞 おめでとうございます



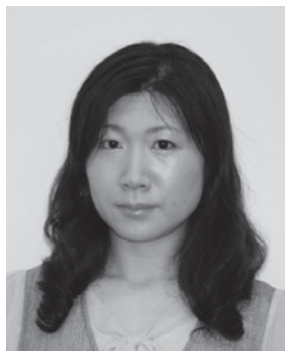
**菊地 成一氏**  
(秋田県木材産業協同組合  
連合会理事長)



**藤澤 正義氏**  
(秋田県鐵構工業協同組合  
理事長)



**秋田市個人タクシー  
協同組合**  
(理事長 渡邊 政夫 氏)



**伊藤 千恵子**  
(本会総務企画部  
企画広報課主任)



【本県からの参加者のみなさん】

## 大会決議

(概要)

わが国の経済を力強い成長軌道に乗せるためには、「日本再興戦略」の迅速な実行と震災からの復興の加速化が必要である。中小企業の成長こそが、被災地をはじめ日本経済全体を再生させ、わが国の国際競争力を底上げする。

国及び都道府県は、国民の暮らしを支える中小企業が力強く成長、発展できるよう、下記事項の実現を強く要望する。

### 1. 実感ある景気回復と経済成長の実現

- (1) 中小企業の設備投資の促進
- (2) 経営革新、創業、事業転換、事業承継、海外展開等の支援の強化
- (3) ものづくり支援の拡充
- (4) 電気料金の抑制と電力の安定供給

### 2. 中小企業連携組織対策推進事業の強化と小規模企業振興基本法の制定

- (1) 中小企業団体中央会の事業を毎年度確実に遂行できるよう、中小企業連携組織対策推進事業の拡充強化すること。
- (2) 小規模企業の連携・組織化支援の位置付け等を明確にすること。

### 3. 被災地の産業基盤の再生加速

東日本大震災の被災地の産業基盤の再生等に向けた財政支援の継続・強化を図ること。中小企業等グループの施設の復旧・復興に対し継続して十分な予算措置を行うこと。

### 4. 快適な商店街づくり

商店街組織が行う身近で快適な商店街づくり、地域住民の安心・安全な生活環境を守るための施設・設備等の整備を促進すること。

### 5. 社会保障制度改革

社会保障制度改革に当たっては、中小企業の経営実態や意見を踏まえ、過度な事業主負担とならないよう十分に配慮すること。

9月30日(月)、東京都において、佐竹敬久秋田県知事や本会塩田謙三会長をはじめ、商工団体の代表や市町村長ら約30名が、菅義偉内閣官房長官や太田昭宏国土交通大臣等に対し、高速道路の整備促進に関する要望を行いました。

今回の要望は、7月27日(土)に開催された「高速道路ネットワークを利用した地域づくりフォーラムinあきた」大会の決議に基づき行われたもので、本県選出の4名の国会議員も同席しました。

当日は「高速道路の早期全線開通に向けて」及び「東北中央自動車道の整備促進について」と題した要望書を手交し、日本海沿岸東北自動車道の1日も早い全線開通と東北中央自動車道の新規事業化について要望しました。

特に、菅官房長官に対しては、地元である湯沢市が熱望している東北中央自動車道「新庄市昭和～雄勝こまち」間の新規事業化について重点的に要望しました。

手交の後に行われた懇談では、太田昭宏国土交通大臣から、今年度中の供用を予定していた「大館北IC～小坂JCT」間について、今年11月中の供用開始が明言されるなど、大きな収穫がありました。

本県の高速道路網は全線開通に一定の目途が立ちましたが、今後も本県産業の発展のためにも官民が一体となって、早期開通に向けた要望活動を継続していく方針です。



【協働要望に参加した塩田会長(前列左)】



【塩田会長(右)と菅官房長官(左)】

## 中小企業組合等支援施策情報

### ■創業補助金第3回公募について【あきた企業活性化センター】

地域における需要の創出、取り込みや中小企業・小規模事業者の活力の回復・向上を促すことで、経済の活性化を図る起業・創業、第二創業等について、経費の一部を補助します。(補助率2 / 3)

①地域需要創造型起業・創業(上限200万円)

②第二創業(上限500万円)

③海外需要獲得型起業・創業(上限700万円)

募集締切：平成25年12月24日(火) ※当日必着

【受付先・お問い合わせ先】 公益財団法人あきた企業活性化センター 総務相談グループ

企画・総合相談担当 ☎018-860-2425

### ■あきた農商工応援ファンド事業の募集について【あきた企業活性化センター】

あきた企業活性化センターでは、県内の農林漁業者と中小企業者が連携し、お互いのノウハウや技術等を活用して取り組む新商品開発や販路開拓等に対して助成金を交付します。

11月に第3回募集を行います。

○補助率及び補助限度額

①農商工連携支援事業 補助率：重点支援枠 2 / 3以内(食品に関連する取組)  
一般枠 1 / 2以内(食品以外の取組)

補助限度額：500万円/年

②農商工連携応援団体支援事業 補助率：10 / 10以内  
補助限度額：500万円/年

○募集期間：平成25年11月11日(月)～平成25年12月11日(水)

【お問い合わせ先】 公益財団法人あきた企業活性化センター

経営支援グループ 経営革新・設備資金担当 ☎018-860-5702

本会では、毎年7月1日を調査時点として、全国統一様式により中小企業の労働事情に関する実態調査を実施しております。

今年度の調査は秋田県内800事業所(製造業440、非製造業360)を対象とし、そのうち501事業所(回答率62.6%)から回答をいただきました。その概要について、主要項目をピックアップしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細な調査結果については、本会のホームページ(<http://www.chuokai-akita.or.jp/roudou>)に掲載しておりますので併せてご覧下さい。

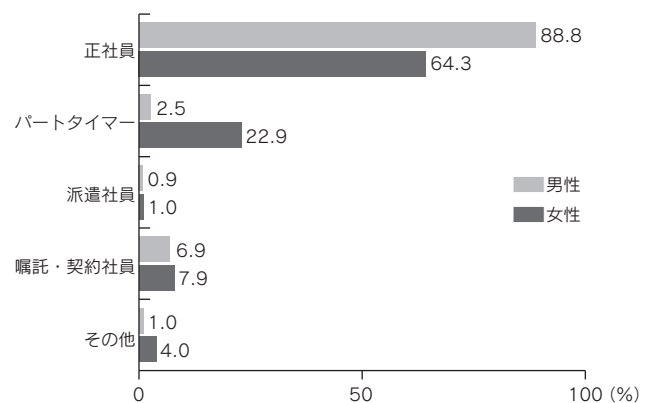
1 調査時点	平成25年7月1日
2 調査対象事業所	800事業所
3 回答事業所	501事業所
4 回答率	62.6%

### 1 雇用形態の構成

秋田県における従業員の雇用別形態構成をみると、男性は「正社員」が88.8%と全国平均の85.0%を3.8ポイント上回っており、およそ9割と極めて高い割合となっている。一方、女性は「正社員」が64.3%と全国平均の53.4%を10.9ポイント上回っている。

本県は「正社員」の比率は全国平均と比べて男女ともに雇用割合が高い。対して、本県の「パートタイマー」の比率は全国平均と比較すると男女ともに低い雇用割合を示している。(図-1)

図-1 雇用形態の構成

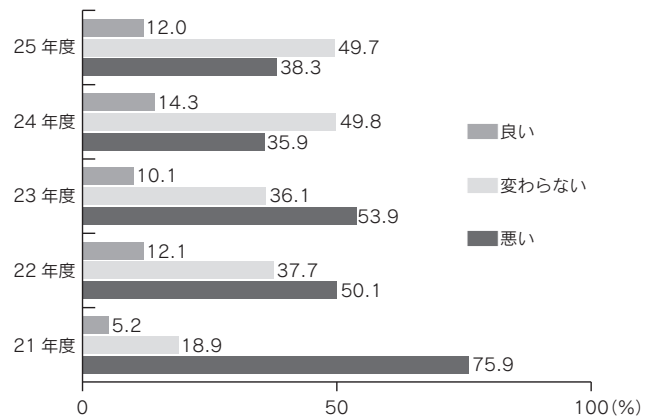


### 2 経営状況の推移

本県の中小企業経営状況の推移について、前年度と比べて状況が「悪い」とする事業所は38.3%と昨年度の35.9%を2.4ポイント上回り、「良い」とする事業所が12.0%と昨年度の14.3%と比較すると2.3ポイント下回る結果となった。

また、「変わらない」とする事業者は49.7%と昨年度とほぼ横ばい傾向にある。(図-2)

図-2 経営状況の推移

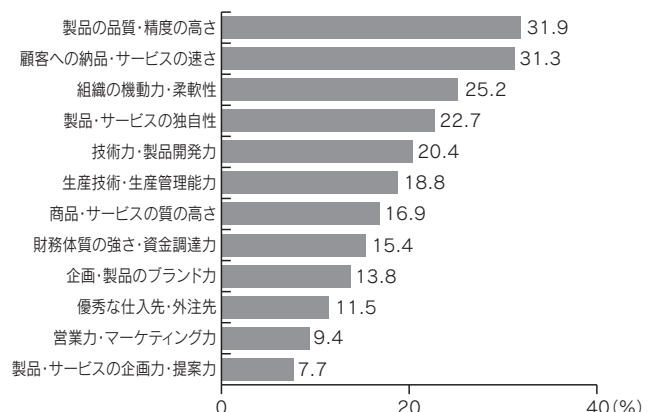


### 3 経営上の強み(複数回答)

経営上の強みを3項目以内で複数選択してもらった結果、「製品の品質・精度の良さ」が31.9%と最も多く、次いで、「顧客への納品・サービスの速さ」が31.3%、「組織の機動力・柔軟性」が25.2%となった。

「製品の品質・精度の良さ」の割合が「顧客への納品・サービスの速さ」を上回ったことで、7年ぶりに順位の変動があった。(図-3)

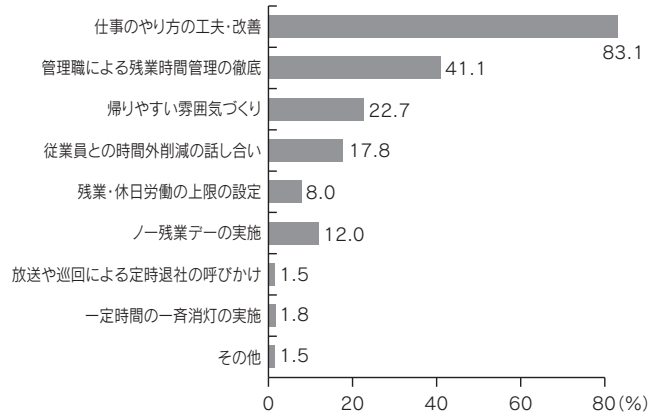
図-3 経営上の強み(複数回答)



#### 4 時間外労働削減の取り組み内容

時間外労働を削減する取り組みについて3項目以内で選択してもらった結果、「仕事のやり方の工夫・改善」が83.1%で最も多く、次いで「管理職による残業時間管理の徹底」が41.1%、「帰りやすい雰囲気づくり」が22.7%、「従業員と時間外労働削減の話し合い」が17.8%という結果となった。本県では、全国平均の割合と比べて「管理職による残業時間管理の徹底」が多くなっている。(図-4)

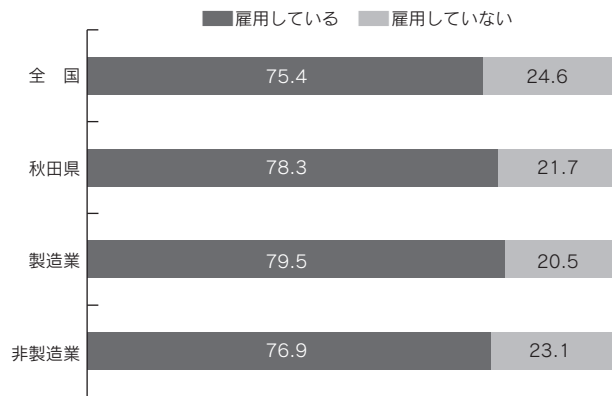
図-4 時間外労働削減の取り組み内容



#### 5 高齢者の雇用の有無

本県における60歳以上の高齢者の雇用状況を見ると、高齢者を「雇用している」事業所は78.3% (昨年78.7%) となっており、昨年と比べるとほぼ横ばいであり、全国平均の75.4%と比較すると、2.9%上回る結果となった。対して、「雇用していない」事業所は、21.7% (昨年21.3%) となっており、全国平均の24.6%と比較すると、下回る結果となった。(図-5)

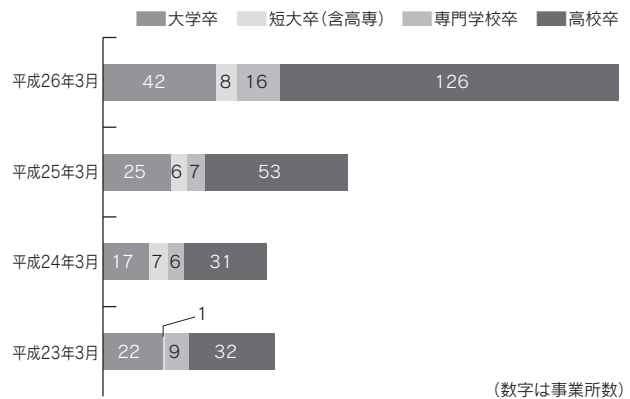
図-5 高齢者の雇用の有無



#### 6 平成26年3月新規学卒者の採用計画

平成26年3月新規学卒者の採用計画についてみると、2年連続で採用計画のある事業所は、増加傾向にある。内訳として、高校卒を計画しているのが、126事業所と最も多く、次いで、大学卒が42事業所、専門学校卒が16事業所、短大(含高専)卒が8事業所となっている。(図-6)

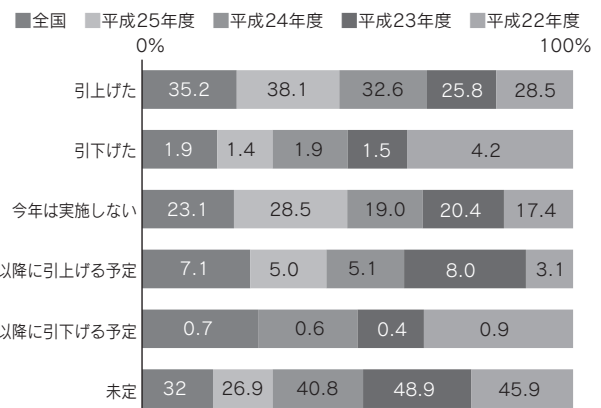
図-6 新規学卒者の採用計画



#### 7 賃金改定実施状況

平成25年1月1日～7月1日(調査時点)までの賃金改定状況を見ると、賃金を「引上げた」と回答した事業所は191事業所38.1%となり、一方、賃金を「引下げた」と回答した事業所は7事業所1.4%となった。また、「未定」と回答した事業所は135事業所26.9%という結果となった。(図-7)

図-7 賃金改定実施状況



# 景況レポート

(9月分・情報連絡員80名)

## 景況は3ヶ月ぶりに悪化

～コストアップにより収益が悪化～

【概況】9月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが17.5%（前月調査25.0%）、「悪化」が27.5%（同27.5%）で、業界全体のDI値は-10.0と、前月調査と比較して7.5ポイント下回り、3ヶ月ぶりに悪化。

内訳として、製造業全体のDI値は12.5で前月調査と比較して15.7ポイント下回った。非製造業全体のDI値は、-8.3で前月調査と比較して2.0ポイント下回った。

前月に引き続き、消費税増税前の駆け込み需要と思われる建設工事や住宅建築の動きが好調、新車販売や家電の買換需要も活発であった。反面、食料品や衣料品の生産は低調に推移した。

また、原材料や資材価格、労務単価の上昇を価格に反映させることが難しく、収益はやや悪化している。

(回答数：80名 回答率：100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
業種	製造業	非製造業	製造業	非製造業	製造業	非製造業

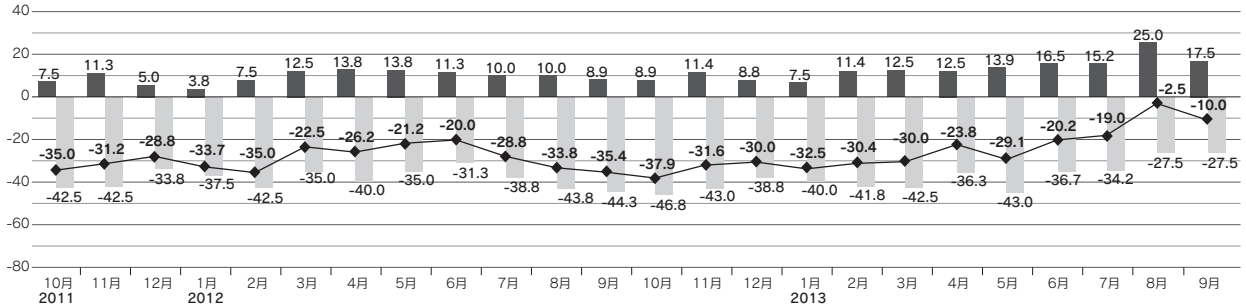
【凡例】

快晴 30以上	晴れ 10以上 30未満	曇り △10以上 △30未満	雨 △30以上 △10未満

【天気図の見方】  
前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index（ティフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。

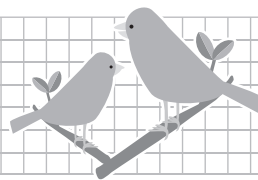
業界全体好転悪化割合〔前年同月比〕



### 業界の声

豆腐油揚製造	円安が進み原料大豆の値上げも進行している。電気料金も上がり、最低賃金も改定される現状で、製品価格の値上げを検討しているが、取引先スーパーの力も強く交渉は難しい。
繊維製品	アパレルメーカーでは、これまでの中国生産からベトナムや東南アジアへのシフトで生産を拡大しており、より廉価の商品が市場に出回っている。消費は、物価の上昇や消費税増税から、暫く衣料品には期待が持てない。
木材・木製品	・消費税増税、木材地域型ブランド事業、木材利用ポイント事業等から国産材の需要が高まり、活発な動きとなった。 ・国内合板生産は好調を維持、出荷も順調なことから、依然として在庫量は低水準で価格は上昇傾向にある。一方、輸入合板は、港頭在庫が多く低調。
外材	9月の丸太輸入量は、米材1隻の24,322立方メートル。住宅の建築需要の勢いは、プレカット以外は落ちつつある模様だが、為替も円安傾向であることから、冬場に向けた材料確保から9月の入荷量は増加が図られた。
機械金属	仕事量が増加しており、各社とも年度内の物件は確保している状況だが、鋼材の値上がり、その他各種値上げ傾向にあり、その分を価格に転嫁できず採算面では好転とは言えない状況。
家電販売	秋冬物商品の先取り感があり、暖房器具の買換や増設、大型テレビへの買換などが見られる。
自動車販売	9月の新車販売台数は、登録自動車が2,546台（前年同月比102.8%）、軽自動車が2,863台（同138.6%）で、合計5,409台（同119.1%）と、今月も軽自動車の好調さが顕著であった。
石油販売	ガソリン1ℓあたり157円90銭で前月比20銭の値下がり、軽油1ℓあたり139円10銭で前月比80銭の上昇と、横這いで高止まりの状況。9月に入り、2週連続値下がりし、暫く小幅な値下がり傾向となる見込み。
建築設計	小型物件の発注が増えてきており、関連業界の活発な動きが見られ、回復の兆しを感じるが、契約後に材料や労務費の上昇などがあり、採算面が心配である。
管工事	公共工事・民間工事ともに増加しているが、8月の集中豪雨災害の発生に伴い、土木工不足の状況で、資材価格も上昇している。
トラック	9月中旬頃から米の輸送が始まり、米を運搬できる業者が限られているので、米以外の荷物を他の業者が受け持ち、全体的に動きが見られた。しかし、軽油価格の高騰が続く中で運賃のサーチャージは叶わない状況。

# 話題の広場



## 中央会事業より

### 第17回中小企業団体ゴルフ大会を開催

10月4日(金)、秋田市の「秋田カントリークラブ」において、第17回中小企業団体ゴルフ大会を開催しました。このゴルフ大会は、会員や関係機関相互の親睦・交流を目的に毎年開いているもので、今回も多く企業の企業や会員組合から協賛をいただきました。

当日は、さわやかな秋晴れで、絶好のゴルフ日和となり、県内各地から参加した39名は自慢の腕を競い合い、大自然の中でのプレーを楽しんでいました。

大会の結果、横手たばこ販売協同組合の遠藤敬氏がネット71.2で優勝しました。

プレー終了後には表彰式が行われ、参加者がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。



【優勝した遠藤敬さん(右)】

#### 【結果】

優勝	遠藤 敬 氏(横手たばこ販売協同組合)
準優勝	佐々木隆俊 氏(一般社団法人秋田県貿易促進協会)
第3位	初山 育夫 氏(秋田県環境整備事業協同組合)
B G賞	森田 真澄 氏(男鹿南秋生コンクリート協同組合) 77

### ボランティア活動に取り組んでいます ～雄物川河口海岸線クリーンアップに参加～

10月12日(土)、秋田市新屋の雄物川河口海岸線で開催されたクリーンアップに本会職員20名が参加しました。これは、NPO法人秋田パドラーズが主催したもので、本会は昨年に引き続き、ボランティア活動の一環として参加しました。

当日は、秋田市出身の歌手・高田由香さんも駆けつけ、強風と雨が降る大荒れの天候の中、ゴミ拾い用のトンゴとゴミ袋を手にそれぞれがゴミ拾いを行いました。参加者約280人で2tトラック6台分程度のゴミが回収されました。

一見すると、ゴミがそれほど多いようには見えませんが、実際にクリーンアップを行うと、13tものゴミがあったという事実には驚き、改めて環境問題を考えるきっかけとなりました。



【クリーンアップに参加した本会職員】

## アラカルト ● a la carte ●

### ■記念講演及び記念式典を開催 ～秋田県トラック運送事業(協)・秋田県物流センター(協)～

10月11日(金)、秋田市の「秋田キャッスルホテル」において、秋田県トラック運送事業協同組合(齊藤正敏理事長)の創立50周年並びに秋田県物流センター協同組合(同理事長)の創立20周年記念講演・式典・祝賀会が盛大に開催され、本会塩田会長の他関係者等約90名が出席しました。

秋田県トラック運送事業協同組合は、県内の運送業者が共同受注や共同配車を行うことを目的に昭和38年に設立、また、秋田県物流センター協同組合は、運送業者の窓口を一本化し、荷物を迅速かつ正確に配送すること等を目的に、平成5年に設立されました。

当日は記念式典に先立ち、記念講演が行われ、前防衛大臣の森本敏氏が「国際情勢と日本の課題について」、外交問題になっている中国



【記念式典の様子】

や韓国との関係に触れ、「(中国・韓国には)断固として譲歩する必要はない。主張すべきところは主張すべきである。」と述べ、持論を展開しました。

その後、記念式典が行われ、長年両組合の運営に貢献した組合員に感謝状が贈られた後、本会塩田会長はじめ来賓から祝辞が述べられました。

引き続き、祝賀会が開催され、和やかな雰囲気の中で懇談され、盛会のうちに終了しました。

## ■創立25周年記念式典・祝賀会が開催される ～仙北中央自動車協業組合～

10月25日(金)、大仙市中仙の「農村環境改善センター」において、仙北中央自動車協業組合(伝農善亮理事長)の創立25周年記念式典・祝賀会が開催され、関係者等約120名が出席しました。

当組合は、車検・定期点検整備の一部協業化による、組合員企業の経営基盤の確立とコスト削減を目的に平成元年に設立されました。

記念式典では、伝農理事長挨拶の後、組合に長年功労がある役員等に表彰状が贈呈された他、高橋浩也秋田運輸支局長等の来賓から祝辞が述べられました。

引き続き、祝賀会が行われ、秋田県自動車整備協業組合連絡協議会の石川会長の乾杯で宴に入り、終始和やかな雰囲気の中で懇談され、盛会のうちに終了しました。



【記念式典の様子】

## 支援団体活動レポート

### ブロック組合士協議会30周年記念大会及び研修交流会が開催される ～秋田県中小企業組合士会～

9月27日(金)、宮城県仙台市において、東北・北海道ブロック組合士協議会30周年記念大会及び研修交流会が開催され、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)からは11名が参加しました。

視察研修では、仙台港運送事業協同組合など3か所を訪れ、東日本大震災の津波で被災した当時の様子や、営業再開に至るまでの話を聞きながら見学しました。

その後、30周年記念大会が行われ、出席者全員で中小企業組合士行動指針を斉唱しました。記念講演では、全国中小企業団体中央会の加藤篤志理事兼事務局長から、「組合士の歩みと役割について」と題して講演が行われ、加藤氏は、「組合の健全な発展のため、組合運営を熟知している者が自ら組合運営を助け、活動を支援していく者を育成する制度として、中小企業組合士制度がスタートした。各組合が組合制度の中で発展していくために、外側からは中央会が、内側からは組合士が、ともに組合運営を支援すべきである。」と述べられ、組合士制度の重要性について、改めて考えさせられる貴重な機会となりました。



【30周年記念大会の様子】

### 平成25年度女性職員セミナーを開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

10月17日(木)、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)主催の平成25年度女性職員セミナーが開催され、30名が出席しました。

今回は、料理研究家の高堂路子氏より、『美容と健康は食生活から』と題して講演が行われ、講師からは「現代は、普通の食事でほとんどの栄養が摂取できる。大切なのはバランスであり、塩分の摂りすぎと、果物を十分に摂ることさえ気をつければ、必要以上に心配することはない。」とのアドバイスがあり、参加者は熱心に聞き入っていました。

また、講演終了後に行われた交流会では、新たな試みとしてテーブル毎に「テーマ」を用意し、それについて自由に意見を出し合う「ワールドカフェ」が開催され、各テーブルとも非常に活発な意見交換が行われました。

当協議会では、今回出された意見を今後の女性セミナーの内容に反映させていく方針です。



【積極的に交流する参加者】





【佐々木理事長】

**【組合の紹介・PR】** 現在、道の駅など県内各地に、農産物及び農産物加工品等の直売所が設置され、生産者が直接消費者に商品を提供する機会が増加しています。これは、食の安心・安全を重要視するなど消費者意識の変化が背景にあると考えられます。

このように消費者意識等の社会環境が変化する中で、生産者が自ら生産する農産物に独自の付加価値をつけ、既存の道の駅や直売所等との差別化を図り、共同販売事業を通じて、組合員の経済的地位向上を図るとともに、働く場を確保することを目的に当企業組合を設立しました。

設立にあたっては、由利本荘市大内を拠点に活動している農事組合法人新田水稲生産組合の仲間の一部も組合員となり、これまで以上に連携を強め、地域経済の活性化に寄与してまいります。

### 【理事長から一言】

組合員が生産した米やジャンボにんにく、果樹等の販売を行う他、その加工品の開発まで行っていきます。

また、現在のロシア・沿海州周辺は中世には渤海国として、本県との交易が行われていた記録が残っていることから、将来的には、沿海州産の「はちみつ」などの輸入販売を通じて、中世の「北の海道」の復活を目指していきたくと思っています。

- 所在地 秋田市千秋矢留町6番30号
- 代表理事 佐々木 三知夫
- 出資金 1,300,000円
- 組合員数 6名
- 主な事業 農産物、農産物加工品の販売
- 成立年月日 平成25年10月18日



## 組合ティールーム 秋田県稲庭うどん協同組合

理事長 佐藤 正明 さん

### ○業界の現状について

当組合は、稲庭うどん製造業者が一致協力し、品質向上とブランド商品の確立を目的に、平成13年10月に設立しました。主な事業は、共同購買や共同販売、共同検査等です。

ここ数年は贈答用の需要が伸び悩んでいますが、インターネットの普及により新たなビジネスチャンスも広がっています。組合としても時代の変化に応じた取り組みが必要と感じております。

### ○理事長としての抱負について

目標は、「稲庭うどん」ブランドを全国へそして世界へ発信していくことです。そのために、組合として地域団体商標の取得を目指しています。稲庭うどんの産地としてブランドを守る為、各組合員が同じ方向に向かって取り組んでいきたいと考えております。また、2年前から関係各所の協力の下に「全国まるごとうどんEXPO」を開催しています。このイベントを通じて、秋田県や稲庭うどんを全国に発信し、交流人口を増やすことで、地域に貢献していきたくと思っています。

### ○座右の銘について(普段心がけていること)

私が大切にしている言葉は「進化と継承」です。変えられるものは時代に即して「進化」をしていく必要があります。逆に変えてはならない歴史・伝統は次の世代に確実に「継承」していく事が大切であると考えております。また「不動心」も大事にしています。会社のリーダーである経営者は、これだけはゆずれないという「ぶれない心」が必要だと思っております。

### ○趣味について

趣味はゴルフです。プレーするために計画的な体力づくりを行っています。また、プレーにおいても失敗したときにこそ、いかにリカバリーするかの方法を考えるのは、商売における決断力や判断力を磨くうえでも共通するところが多いと感じています。



## 2013年度グッドデザイン賞に県内から14件が受賞【秋田県】

10月1日に、公益財団法人日本デザイン振興会から2013年度グッドデザイン賞が発表されました。グッドデザイン賞は1957年(昭和32年)に創設され、日本を代表するデザインを評価・推奨する世界的に有名な賞です。

商品、建築、プロジェクト等、幅広い分野から応募があり、外見だけでなく、使いやすさや環境への配慮等さまざまな観点から審査がなされ、「よいデザイン」が社会へ発信されています。

このたび、秋田県内からは過去最高となる14件が受賞の榮譽に輝きました。受賞内容等詳細については県のホームページ(<http://www.pref.akita.lg.jp/>)からご覧ください。

【お問い合わせ先】 秋田県産業労働部地域産業振興課(創業・地場産業班) ☎018-860-2231

## 平成25年度秋田広域商談会の開催について【あきた企業活性化センター】

公益財団法人あきた企業活性化センターでは、秋田県内の登録企業と東北及び首都圏等の発注企業の方々にご参加いただき、商談や情報交換をしていただくと共に参加企業相互のコミュニケーションづくりを推進し、安定した受注確保を図るための商談会を開催します。県外企業との取引を目指している方は、是非ご参加ください。

○日 時 平成25年11月28日(木) 午後1時～5時

○会 場 秋田ビューホテル 4階「飛翔の間」(秋田市中通二丁目6番1号)

○参加料 発注企業及び県内受注企業は無料、県外受注企業は3,000円

【お問い合わせ先】 経営支援グループ 販路拡大担当 ☎018-860-5623

## 税を考える週間について【国税庁】

国税庁では、11月11日～17日を「税を考える週間」として集中した広報広聴施策を実施しております。今年度は「税の役割と税務署の仕事」をテーマに、税の役割や適正・公平な課税と徴収の実現に向けた取組、国税電子申告・納税システム(e-Tax)の利用促進に向けた情報等について、ホームページ等で紹介しますので、ぜひ、ご覧ください。

## 2014年新春経営トップセミナー開催のご案内

本会主催の新春経営トップセミナーを次の日時により開催致します。会員皆様の多数のご参加をお待ちしております。

○テーマ 「これからどうなる!? 秋田の進路を考える」

○講師 読売新聞特別編集委員 橋本 五郎(はしもと ごろう)氏

○日 時 平成26年1月16日(木) ①セミナー：午後3時～ ②賀詞交歓会：午後5時～

○場 所 秋田キャッスルホテル

※ お申し込み等の詳細につきましては、次号でお知らせします。

## 11月は連携組織強化月間です。

本会では、毎年11月を連携組織強化月間と位置づけ、11月1日から30日まで「特別相談窓口」を設置して、中小企業者が連携して事業を展開したり、家族や気の合う仲間と起業する企業組合での創業等を積極的に支援していますので、お気軽にお問い合わせください。

○お問い合わせ先 事業振興部：〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 ☎018-863-8701

大館支所：〒017-0044 大館市御成町二丁目8番14号 ☎0186-43-1644

横手支所：〒013-0021 横手市大町7番18号 ☎0182-32-0891

## 秋田流通サービス事業協同組合

(株)出羽運輸	里見運送(有)	合資会社塩喜運送
(有)川津商事	千歳運送(有)	(有)丸橋運輸
六郷小型貨物自動車運送(株)	姉崎商運(株)	(株)三ウラ産業
(株)仙建	豊幸商事運輸(有)	日通横手運輸(株)
(有)藤原運送	ヨコウン(株)	大曲小型貨物自動車運送(株)
角間川運送(株)	田沢湖運送(株)	十文字運送(株)
エコー運輸(株)	湯沢運送(株)	川連運送(株)
(株)岡部興業	(有)北国急行	(株)美郷運輸

※順不同

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3  
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299

総合物流サービス業

# YOKOUN

## ヨコウン株式会社

☎013-0072 秋田県横手市卸町 8 番 14 号 ☎0182-32-3667 Fax32-5672  
http://www.yokoun.co.jp http://www.facebook.com/yokoun

官公需適格組合

『カデル』

## 秋田管工事業協同組合

理事長 高橋正男  
副理事長 山岡緑三郎  
" 本多秀文

秋田市山王臨海町3番18号  
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

## リース・保険で 安心と安全をお約束



株式会社  
**北日本リース**  
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

株式会社  
**北日本ベストサポート**  
TEL.018-896-5080 FAX.018-896-5087

〒010-0967 秋田市高陽幸町8番17号岸ビル内



## トワニー秋田

通商産業大臣認可50産第1784号  
全日本葬祭業協同組合連合会加盟

**秋田県葬祭業協同組合**

〒014-0001 大仙市花館字常保寺91-3  
TEL 0187-86-3530 FAX 0187-86-3531  
ホームページ http://www.towany.com

葬祭・仏壇・仏具のご用命は  
組合加盟店へどうぞ

## 信用保証で 秋田県の中小企業を応援します



信用保証協会は、中小企業の資金  
繰り円滑化のために設立された公的  
機関です。

お客様の目的に応じた保証制度を  
多数用意しておりますので、どうぞご  
利用下さい。

**秋田県信用保証協会**  
http://www.cgc-akita.co.jp  
TEL:(018)863-9011 FAX:(018)863-9010

For Earth, For Life  
Kubota

## 野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

**株式会社 秋田クボタ**



〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38  
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600

**Traffic**  
Rental X Lease

株式会社 トラフィックレンタリース

[本社] 〒010-0816 秋田県秋田市泉字登木234番地  
TEL.018-865-0266 / FAX.018-865-0267

Best  
Planning  
Traffic Rental Lease

<http://www.traffic-rent.jp>

煩雑な車両管理業務の  
負担を軽減。  
「コスト」「業務負荷」「リスク」、  
3つの観点から最適な改善プランを  
ご提案いたします。

D I G I T A L S T R A T E G Y

デジタルネットワークでのアドバンテージ。

 **秋田活版印刷株式会社**

〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1 TEL.018-888-3500 FAX.018-888-3505

2013  
11  
Nov

中小企業あきた

平成25年11月1日発行（毎月1日発行）第642号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円